

令和6年度第2回軽井沢町学校運営協議会 会議録

1. 開催日時 令和7年2月21日（金） 14時30分～16時
(授業等見学：13時40分～14時20分)
2. 開催場所 軽井沢中学校 多目的室
3. 出席者 委員等：細萱 委員、松村 委員、土屋(隆) 委員、牧山 委員、
栗岩 委員、土屋(栄) 委員、土屋(次) 委員、森 委員
軽井沢東部小学校 川崎 校長、軽井沢中部小学校 阿部 校長、
軽井沢西部小学校 久保 校長、軽井沢中学校 山崎 校長
事務局：こども教育課学校教育係 金井 課長補佐兼係長、豊嶋 主任
4. 議 題
 - (1) グループ討議 テーマ「PTAの今後の方針・地域との関わり方について」
 - (2) 発表・まとめ
5. 傍聴人数 0名（定員5名）

6. 議事内容

1. 開会

【事務局】

本日は、公私共に忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。時間になりましたので、ただいまより令和6年度第2回軽井沢町学校運営協議会を開催いたします。お手元のアンケート用紙につきましては、会議終了後にこちらで回収しますので、そのまま机の上に置いていただくようお願いいたします。

それでは、本協議会の会長より挨拶をお願いいたします。

2. あいさつ

【会長】

皆さんこんにちは。寒い日が続いていますが、体調はいかがでしょう。私は少し体調を崩して、2日ほどお休みさせていただいておりました。厳しい寒が続いていますので、ご自愛いただければと思います。

お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。本日は議題がPTAという

ことで、なかなか難しい時代になってきたと改めて感じています。PTAが解散したというニュースがありまして、今後はそういう動きが加速してくるのではないかと考えています。

本会議では建設的な意見を出していただいて、こんな風にすればというアイデアをたくさん出していただくことが大切だと思います。皆様から忌憚のないご意見をいただければと思います。本日はよろしく願いいたします。

3. 議題

【会長】

それでは、PTAの今後の方針・地域との関わり方についてということで、皆様で話し合っただけだと思います。今回はグループ討議という形で行いたいと思いますので、よろしく願いいたします。グループ討議の行い方については、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

それでは、グループ討議の進め方について説明させていただきます。委員の皆様にはA・B・Cの3つのグループに分かれていただきまして、各学校の校長先生にファシリテーターをしていただく形をお願いいたします。

最初に簡単な自己紹介をしていただきます。その後、前回会議で各学校のPTAの状況などを説明していただきましたが、前回欠席されている委員の方もいらっしゃいますので、再確認をしていただく意味を含めて、現在のPTAの状況・今後の方向性・学校で課題を感じている点などについて、最初に校長先生より説明をしていただきます。ここまでで約5分の時間を取りたいと思います。

その後、PTAの今後の関わり方・今後の方向性・課題解決について、個人で意見やアイデアを出していただきたいと思います。時間を5分取りますので、意見やアイデアを付箋に書いていただければと思います。

それが終わりましたら一人1分を目安に、ご自身が付箋に書いた内容について説明をしていただきながら、付箋をホワイトボードに貼り付けてください。グループで約5分の時間を取ります。

全員の説明が終わったところで、出された意見について発展的な意見などをグループ全体で考えて出し合っただき、その中でいい意見や追加の意見・アイデアがあれば

ば新たに付箋に書いて貼り付けていただければと思います。こちらのグループでの話し合いの時間を約 10 分取りたいと思います。

最後に、グループで話し合った内容についてグループごと発表をしていただきます。グループの中で意見やアイデアを集約して発表していただくのではなく、グループの中で出た意見・アイデアを発表していただいて、他のグループの方にも共有していただきたいと考えております。グループ発表につきましては、1 グループ 3 分くらいを予定しております。

今回討論を行うにあたりまして、意見やアイデアを自由に出し合ってくださいますが、出された意見について評価や否定はしないようにしてください。また、難しく考えすぎずに、多くの意見やアイデアを出していただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。各グループのファシリテーターを務める校長先生におかれまして、グループ討議が円滑に進むようお願いいたします。また、時間配分等は事務局より声をかけさせていただきますので、よろしく願いいたします。

それではグループ討議を始めたいと思いますので、準備が整いましたところから始めていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

<グループ討議（グループごとに実施）>

【会長】

ありがとうございました。難しい問題なので話し始めると時間が全然足りないと思いますが、いったんこれでグループ発表をしていただきたいと思います。それでは、A グループから発表をお願いいたします。

【Aグループ】

よろしく願いいたします。東部小学校では今年度 1 年間かけて、PTA の改革ということで行ってきました。その話をさせていただいた後、グループ討議を行いました。今後の方向性ですが、共働き世帯が増えて仕事をしながらということで負担がすごく増えてきているので、負担を減らすことが必要になってきているという意見が出ました。また、PTA 活動を行うにあたっては、PTA だけでなく地域にある自治会などの外部の組織と連携して行って、一緒に活動して盛り上げていくことがいいのではないかとこの意見が出ました。

課題的なものとしては、PTA役員の大変なところが周りの人に伝わってしまっているの、役員の人以外にこんなことをやって、こういう制度があって、こういうことがよかったよというように、どんなことをやっているのかをしっかりと伝えていくのが大切という意見が出ました。

また、子どもたちのためにPTAはあるので、なんとなくでもいいので学校に子どもがいる間は全員PTAに入ってもらいたいという希望の意見もありました。他にも、保護者の負担が大きいので、委員会やイベントの参加についてあまり強制はしないようにすることも大切という意見もありました。

持続性を持たせていきたいというところで、今は東部小学校でも新しく変えるぞというところで盛り上がってきているので、ボランティアや来年度のPTA会長を募ってみると、やってみたいという方がいましたが、これが何年か経っても持続できているのかが大切で、毎年活気あふれるような活動をしっかりと発信していかないとだんだんにその意欲が冷めていってしまうのではないかと思います。

東部小学校は人数がだんだん減少してきています。内容的にもそれに合わせた少ない人数でもできることを考えていかなければいけないと感じています。会長や副会長、会計などの役職も1年間ずっと続けるのではなく、チームを組んで何か月ごとに役職をローテーションしてもいいのではないかと意見もありました。そのような形で一人ひとりの負担を減らす試みもあってはいいのではないかと意見が出ました。Aグループは以上です。

【会長】

ありがとうございました。続いてBグループお願いいたします。

【Bグループ】

付箋にまとめるまではできませんでしたので、様子をお話しさせていただきます。Bグループですが、中学校のPTAの様子について現状を説明させていただき話を深めていきました。

今話題になってきている課題というのは、活動への負担感であるとか役員がなかなか決まっていけないところから、保護者がPTAに向いていかないのではないかと話がありました。

実際、中学校は本会と支部ごとの会があり、本会は正副会長がいて学校に集まる会は

年に2回です。学級委員は参観日の時に司会をやっていただき、生活委員ではPTA作業は年に2回、教養委員はPTA新聞の発行が2回ありますが、PTA新聞は原稿を依頼して校正する部分だけでそこまで大きな仕事はありません。支部では、支部長は支部懇談会を夏休みの前に1回実施するというので、中学生が参加する支部事業というのはほとんどありません。また、校外指導の方も街頭指導が年に1回ということで、実際本当に負担感があるのだろうかというところも含めて今回お話しさせていただいて考えました。

その中で、さきほどAグループの発表でもありましたが、保護者の中には子どもたちのために何とかしたいという思いは少なからず皆さん持っているのではないかとということで、その気持ちを大切にしていかなければいけないのではないかと話がありました。

また、中学校でも中部小学校で導入されているBANDという情報共有ツールを導入しました。保護者同士がPTA活動についての情報共有などを瞬時にできるツールは活用していくべきという話もありました。それについては、今後も継続していきたいと思っています。

細かい話になってしまうのですが、中学校では支部懇談会をやめることも少し考えています。形式的なことばかりで、話し合いが深まらないという意見が職員からも出ています。ただ、このグループの中では、民生児童委員の立場からすると地域に住む親と顔を合わせる機会というのは今ほとんどないらしく、これが唯一の会ということです。そういったことを考えると、安易になくしてしまうこともどうなのかということを考えさせられました。

コロナ禍を経て、顔と顔を突き合わせる機会がだいぶ減り、少しずつ戻ってはきているのですが、コロナの時の方がいいなと思っている人たちもまだまだいるのかなと思います。そんなことがPTAの活動にも大きな影響を及ぼしているのかなということを強く感じる話し合いとなりました。簡単ではございますが、以上となります。

【会長】

ありがとうございました。最後にCグループお願いいたします。

【Cグループ】

Cグループも同じようにコロナ禍の中で関係性などが分断されてしまったということ

が話題になりました。

雪が降った時の子どもたちの通学路などの雪かきを昔は親がやっていたけれども、今は誰かがやってくれるだろうとか、そういうのがあり、PTA活動と共通していると思いました。保護者の方の中には自分たちの子どものためにというところが根本にはあるのではないかと思います。どうしたら自分ごとのようになっていくのかというところで一つ出たのは、効力感のある活動ということで何かやって楽しいとか実際やってみて子どもたちの笑顔になった姿を見て私たちもうれしかったという活動が必要ではないかという意見が出ました。

やはり、持続可能ということも大切なので、その時代のPTAの方たちだけではなくて、卒業したOBの方たちにも関わっていただくなど、OBの方たちの活用も一つの解決策ではないかという話が出ました。例えば、西部小学校の八風山の遠足という伝統ある行事の際に、現在のPTAの方たちだけでなく、OBの方たちも関わってくださいます。Cグループの発表は以上です。

【会長】

ありがとうございました。今回のグループ討議で出た意見やアイデアを今後各学校で取り組む際に参考にさせていただきたいと思います。今後、PTAは全く必要ないという学校はないと思います。やりがいのあるPTAというものにしていくには何が重要かというものを各学校の先生にも考えていただいて、そして先生も地域とつながっていくようになっていくことも大切だと思います。地域と学校がうまくつながりながら、さらに効力感のあるPTAになっていけばいいと思いますので、いいアイデアを出し合いながら進めていければと思います。よろしく願いいたします。

4. その他

【会長】

その他ということで、何かありましたら出していただければと思います。

【A委員】

今の通学区は昔と比べて広がってきていて、西部小学校では茂沢地区はタクシーが出ているのですが、その他にも学校まで遠い場所が現在増えています。そういったところでは、現状保護者が送迎などをしています。千ヶ滝も昔は西武バスがあつて、子どもた

ちは定期券を使って利用していたのですが、そういうバスも循環バスに変わったりしてなかなか利用しにくくなっています。現在、子どもたちが通学してくるエリアが広がっていますが、子どもたちが安全に登下校するために、例えば通学バスなど全体的に考えられないかという話が地域の方からありました。遠距離からの安全な通学について、今後何かご検討いただければと思います、お話ししました。

【会長】

この場ではお答えできないと思いますが、各小学校の先生たちでこの地域は少し大変だなというものがもしありましたら、出していただければと思います。

【軽井沢中部小学校長】

中部小学校ですと、発地や風越、千ヶ滝方面と通学エリアが広がってきているのですが、結局路線バスに乗らないといけないので、学校の日課と合わない時もあり、子どもたちを待たせてしまうことがあります。また、保護者の声として、バスを降りてから子どもが一人で舗装されていない別荘地の道を歩かなければならないということで、危ないので結局送り迎えしているという話があります。学校としても子どもたちの安全が第一なので、歩いてくださいと言えない状況ですので、送り迎えで対応いただいている状況です。送迎の車の台数もかなりの数で、子どもたちの安全な登下校についても、今後話し合いができたらいいなと思います。

【会長】

ありがとうございます。中学校は自転車で通学できますが、町内に1つなので、もっと距離がある生徒もいると思います。別荘地の話がさきほどありましたが、そうはいつでも、子どもたちみんなを玄関まで送り届けるのはとてもできないので、難しい問題ですが今後の課題だと思います。

【B委員】

私の方からわかる範囲でお答えさせていただきます。まず、峠町と茂沢についてはタクシーを出しています。あとは路線バスもありますし、町内循環バスもありますが、現在はバスの運転手がない、バスもないという中でぎりぎりの状態で町の循環バスも運行していてこれ以上増やせない状況です。

中部小学校長からお話がありましたけれど、今まで家が建っていないような所まで家が建ち、そこから通っているお子さんもいるということで、会長のおっしゃったように子どもたちの家まではとても無理な状況なので、それは各家庭で対応してもらいたいと思います。

現在、町では交通関係の総合計画を作成しています。その中で、循環バスに代わるデマンドですとか、そういったものがもしできるのであればそういった形で進めていくことができるかもしれませんが、具体的にまだ決まっていませんので今後検討していくと思います。

【会長】

ありがとうございました。大変難しい課題ということがよくわかりました。要望はたくさんあっても、それを現実的にどういうふうにするのかというのは、いくつもの高いハードルがあると思いますので、現状でうまく対応をしながら進めていくのが現実的だと思います。このような話題が地域の方から提案されるというのは、子どもたちの様子をよく見ていただいているということだと思います。

他にはよろしいでしょうか。以上で協議事項が終わりましたので、事務局にお返しします。

5. 閉会

【事務局】

ありがとうございました。以上を持ちまして、令和6年度第2回軽井沢町学校運営協議会を閉会いたします。お疲れ様でした。